

希 望

【大津市立皇子山中学校だより】
令和3（2021）年8月30日発行
第6号 生徒数：761名
【学校教育目標】

やっぱい皇中がすき♡

「皇子山中学校・校区」を愛し、
校区の次代を担う生徒

◇ 8 1 日間のセカンドステージへ

4 1 日間の夏休みが終わり、8 1 日間の2学期が始まりました。みなさんにとって今年の夏休みはどんな夏休みだったでしょうか。

夏休みの前半には、大津市や滋賀県夏季総体、吹奏楽コンクール地区予選において多くの生徒が活躍しました。陸上競技部・柔道部・卓球部が近畿大会に出場しました。また、しが生徒会オンライン交流会や大津っ子未来会議一児童会・生徒会サミットでは、生徒会執行部が zoom 会議に参加し生徒会の取組を堂々と発表しました。さらに50名以上の生徒が、サマーボランティアに参加し地域の方と一緒に活動しました。それ以外でも、きっと皇中生一人ひとりが学校生活とは違う有意義な経験をしたことと思います。その一人ひとりの経験や成長をこれからの学校生活に生かし、**みんなでよりよい学級・学年・学校を創っていきましょう。**

夏休みの後半は、滋賀県にも緊急事態宣言が出され部活動をはじめとした様々な活動が停止したり、大雨による土砂災害で交通機関が遮断されるなどの被害が起こったり、これまでに経験したことがないような事態が重なって発生しました。始まった2学期もコロナ対応をはじめとして予測しがたい日々を送ることになりますが、今まできちんと実行してきた**検温、手洗い・手指消毒、マスクの着用、うがい、換気、3密を避ける、黙食、災害時の準備や家族での話し合い**などを改めて意識して行っていきましょう。

◇ 「みんなで守ってあげよう」

滋賀県内、大津市内でもPCR検査受検者や感染者が増加しており、本校も例外ではありません。新型コロナウイルス感染症は、いつ誰が感染してもおかしくない状況にあります。感染者や濃厚接触者などに対するいわれもない誹謗中傷、差別的な行為はあってはならないことです。

新型コロナウイルスの影響で高校野球選手権を大会途中で辞退した東北学院の主将が次のようなコメントをしました。

「(監督から)感染した人のことはみんなで守ってあげようという話がありました。そうだなと自分も思って。感染してしまったり、濃厚接触者になってしまったり選手たちにはもちろん悔しい思いもあると思うし、絶対気にするとは思いますが、それを自分たちみんなで守って、と言うかカバーして受け入れていけたらなと思います。」

本当に悔しい決断だったと思いますが、野球以上に仲間、命、思いやりを大切にされたんだなあ、と胸にこみあげてくるものがありました。私たち皇子山中学校に関わる全ての人も**「みんなで守ってあげよう」という思いやりの気持ちを持って行動**できるようにしていきたいです。

◎ 9 月の主な行事予定

1日(水) シェイクアウト訓練

3日(金) 2学期給食開始

14日(火) 苦楽好シート調査

29日(水) 3年実力テスト

◇ 皇子山中学校

HP 用 QR コード



美術部が地域の
レターボックスを制作

<保護者様へ>

2学期も、本校の教育活動に対しまして、1学期同様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。学校における感染拡大防止のため、下記の点につきまして、改めてご理解、ご対応いただきますようお願いいたします。

1. お子様の健康管理について

- ・登校の際には、検温や風邪症状の確認を行い、健康観察カードを学校に提出してください。発熱等の風邪の症状がみられる場合は、登校を控え、無理をせず自宅で休養させてください。また、かかりつけの医療機関等に電話等で相談し、その指示に従ってください。併せて、学校へ連絡をお願いします。
- ・同居の家族に、発熱や風邪症状が見られる場合についても、登校を控えるようお願いします。
- ・登校後に発熱等の症状がみられた場合は、学校で様子を見て休ませることはできませんので、ご家庭に連絡させていただきます。その際は、できるだけ早めに迎えに来ていただきますようご協力をお願いします。

2. PCR検査等の検査を受けられる場合の対応について

- ・次のいずれかに該当する場合は、感染拡大防止および学校での対応を迅速にするためにも、速やかに学校へ連絡をしてください。
 - (1) 児童生徒がPCR検査等を受検する（受検した）場合
 - (2) 児童生徒の同居の家族がPCR検査等を受検する（受検した）場合
 - (3) 児童生徒または同居の家族の感染が判明した場合
 - (4) 児童生徒が濃厚接触者に特定された場合

3. 児童生徒及び教職員の感染が判明した場合の対応について

- ・感染拡大を防止するため以下の対応をします。
 - (1) 感染者が判明したことについて、学校から保護者の皆様にメール配信等を活用し、お知らせします。
 - (2) 臨時休校の措置をとらない場合であっても、上記(1)のお知らせをします。
 - (3) できるだけ早期にお知らせするため、メール配信が深夜に及ぶ場合がありますが、ご理解をお願いします。

◇「お互いをリスペクト」～2学期始業式 校長の話～

今夏、行われたオリンピック「東京2020」、皆さんはどの競技に注目していましたか。スケートボード、卓球やバドミントンの男女ミックスダブルスなど新しい競技に驚かれた方も多かったことと思います。

その「スケートボード」の競技において、驚きとともに感動したシーンがありました。

総合4位に終わった15歳の岡本碧優（おかもとみずぐ）選手を、外国の選手たちが肩に担ぎあげその演技をリスペクトしていたことです。岡本選手も笑顔でガッツポーズをしていたことが忘れられません。

岡本選手は、決勝に残っている選手のうちの最終演技者でした。大きな技を決めることができれば、銅メダル以上の受賞が可能となるととても大事な演技場面でした。技術点の高い技を演じようとチャレンジします。しかし残念ながら転倒して失敗し、涙で演技を終わります。

しかし、その演技を見ていた選手たちは、岡本選手にかけより、競技にひたむきに取り組む姿勢、高い技に挑戦し続けるその姿をリスペクトしていました。**互いを認め、たたえるその姿勢**に感動しました。

私は、選手同士は、メダル獲得をねらうライバルだと思っていました。

もちろんライバルではありますが、他の選手の演技が**成功しても、逆に失敗しても、どの選手もいつもリスペクト**だそうです。岡本選手にあっては、**他の選手が失敗したら、その選手と同じように悔しがり、他の選手がその技を成功したら自分事のように喜ぶ**そんな選手だそうです。

「お互いをいつもリスペクト」

私たちもこうありたいなと思いました。